

## 令和6年度園芸生産者大会を開催

2月6日、JAみやざきこばやし地区本部で令和6年度園芸生産者大会が開かれました。JAこばやし合併50周年記念大会でもある同大会には、園芸農家など163人が参加。優良農家への特別賞の表彰や日本農業新聞緒方大造論説委員による記念講演が行われました。



## 野尻中卒業生が母校に還暦記念の寄付

2月17日、昭和53年度野尻中卒業生有志が還暦記念として母校に約18万円を寄付しました。寄付は、母校へ恩返しをしようと昨年9月に開催した還暦同窓会の際に募ったもの。当日は代表4人が野尻中を訪問し、太田誠治校長に直接寄付金を手渡しました。



## ライオンズクラブが新入生の安全願う

2月12日、小林ライオンズクラブ（川野雄司会長）が4月から市内小中学校に通う新入生が通学時などに使用できる安全用具を寄贈しました。新小学生にはランドセルカバー370枚、新中学生には自転車用のワイヤーロック350個が贈られました。



## JAみやざき系統和牛枝肉共励会

3月4日、宮崎県内のJAが生産する黒毛和牛の枝肉の品質を競う大会「JAみやざき系統和牛枝肉共励会」が株式会社ミヤチク都農工場（都農町）で開催され、有限会社馬場牧場がJAみやざき組合長賞の銅賞、小田孝一さんが同優秀賞2席を獲得しました。



## 小林市で鍛え上げて2連覇目指す軟式野球日本一チームが合宿実施

3月1日から16日にかけて、「ゴリラクリニックベースボール」が市内で合宿を行いました。同チームは、プロ野球で活躍した今浪隆博さんが監督として率いるチーム。昨年の9月には、創部5年目にして軟式野球の日本一を争う大会である「第79回天皇賜杯全日本軟式野球大会」で初優勝するなど、全国で注目を集めているチームです。



3月6日の歓迎セレモニーで今浪監督は「小林市で選手の技術と体を鍛え上げて、また今年の天皇賜杯での2連覇を目指してがんばりたい」と話しました

## 地域の困りごとなどに気づくアンテナ役 福祉協力員の役割などを学ぶ研修会

3月8日、福祉協力員等研修（ご近所サポーター養成講座）が開かれました。福祉協力員の役割や活動を確認し、お互いに声を掛け合う関係を大切にする地域づくりを目指し、小林市社会福祉協議会が開催。講師の初鹿野聡さんによる、地域内での気負わない関わりから必要に応じた支援につなげていく大切さについての講演などがありました。



福祉協力員は地域の困りごとや行き届かない支援に気づく地域のアンテナ役。令和6年8月から2年間の任期で委嘱され、市内で124人が活動しています

## 地域医療の担い手として期待 小林看護医療専門学校で卒業式

3月5日、小林看護医療専門学校の卒業式が文化会館で挙行されました。第8期生となる34人の生徒が看護師としての決意を胸に、慣れ親しんだ学舎に別れ。卒業生を代表して宮田菜依さんは「この学校で学んだ知識と技術、そして何より相手を思いやる心を大切に、一人一人が誇りを持って歩んでいく」と決意を述べました。



式では卒業証書の授与のほか、皆勤賞などを含むさまざまな賞の授与も行われました。今年は卒業生のうち18人が西諸地域に就職する予定です

## 小林中・三松中生徒の選抜チームがソフトテニスの九州大会に出場

3月6日、市内中学生でつくる西諸選抜チームが、3月16日に長崎県で開催される第37回九州地区中学校選抜ソフトテニス選手権大会への出場を市長に報告しました。チームは小林中生徒6人と三松中生徒2人の計8人。県内各地から19チームが参加した2月11日の県中学校地区別対抗団体戦での激戦を制し、九州大会出場を決めました。



小林中2年の高田弦空さんは「宮崎県・西諸地区を代表し、応援してくれる方の期待に応えられるよう全力をつくしたい」と意気込みを話していました

## さらなる高品質な宮崎牛生産を目指し 飼養管理技術の向上を目指す勉強会

2月12日、JAみやざきこばやし地区本部青年部野尻支部（川野直人支部長）が、さらなる高品質な宮崎牛生産を目指した勉強会を開催しました。西諸県農業改良普及センターの黒木修一課長と獣医師の山崎野枝さんが講師を務め、参加した和牛農家など約20人は、良質な飼料の生産や季節にあわせた餌の与え方などについて学びました。



同支部ではNPOパートナーシップ創造事業を活用し、家畜疾病対策の勉強会や中高生に農畜産業への関心を高めてもらうフォーラムも開催しています

## 仮想空間で観光地や災害など体験 市内中学校でVR体験会を開催

デジタル技術を生かしたビジネスなどを手掛ける株式会社アルファコードの内田 弦さんを講師に招いたVR技術体験会が、3月4日と5日に市内中学校で開かれました。市が取り組むデジタル人材育成事業の一環で市キャリア教育支援センターが企画。生徒らはコンピューターで生成された仮想空間を通して、先進的な技術を体験しました。

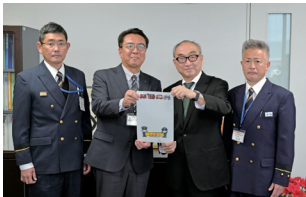


4日には東方・三松中、5日には紙屋中で開催。実際の観光地の映像体験や認知症の幻視体験などさまざまな活用法に生徒からは驚きの声が続きました



## 危険物安全協会がクリアファイル寄贈

3月12日、西諸地区危険物安全協会（こだま 兒玉龍之介会長）が新小学生に火の用心を啓発するデザインのクリアファイル360枚を寄贈しました。兒玉会長は「クリアファイルを見て子どもたちが安全な生活を送る一助になればうれしい」と話しました。



## 自動車整備振興会が下敷きなど寄贈

3月14日、宮崎県自動車整備振興会小林支部（かんむら いちろう 上村一郎支部長）が交通ルール下敷きと防犯定規各360枚を寄贈しました。下敷きなどは新小学生に配布予定で、上村支部長は「次代を担う子どもたちが交通事故にあわないよう活用いただきたい」と話しました。



## 西諸生コン組合が防犯ブザー寄贈

3月17日、西諸地区生コンクリート事業協同組合が市内の新小学生に防犯ブザー350個と祝い金3万円を寄贈しました。同組合のそとむらきみあき 外村公明副理事長は「未来の地域を支えていく小学生が安心安全に通学し、楽しい学校生活を送れることを願っている」と話しました。



## 交通安全協会が反射タスキなど寄贈

3月21日、県交通安全協会が新小学生に交通安全クリアファイルを350枚、同小林地区交通安全協会が新中学生に反射タスキ370本を寄贈しました。小林地区交通安全協会の内一幸会長は「次の世代を担う子どもたちのため、交通事故防止に役立てて」と話しました。



## 卒業生への思い出作りを 小林小で濱田詩朗さんトークライブ

3月15日、小林小学校でタレントの濱田詩朗さんのトークショーと音楽ライブが開催されました。卒業生の思い出に残るイベントを開催したいと同校PTAが企画したもの。トークショーには濱田さんと共にラジオ番組に出演するかしわで けんた 膳健太さんも駆け付け、軽快な2人のトークに卒業生とその保護者ら約100人は盛り上がりました。



2人は会話が上手になる方法というテーマでトーク。「スマホの情報で体験した気にならないで。実際の体験を大切に、話のネタにしよう」と話しました

## 子どもたちが健やかに育つ社会へ 九州北清株式会社が100万円寄付

3月19日、廃棄物処理事業などを行う九州北清株式会社（まへの けいた 前野慶太代表取締役社長）が、市に100万円を寄付しました。寄付は平成25年度からいただいております、今回で8回目。寄付金は同社の意向に基づき「小林市こども応援基金」に積み立てられ、子どもの貧困対策事業や少子化対策事業、子ども・子育て支援事業などに活用されます。



寄付贈呈式で前野社長は「地域の宝である子どもたちが健やかに育つ環境を整えることは大人の役割。微力ではあるが貢献できれば」と話していました

## 同じ地域で暮らす市民が支える 市民後見人になるための第一歩

3月12日、市民後見人セミナーが開催されました。公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート宮崎県支部のくもとたけし 隈本武さんが市民後見人の現状や、その活動と今後の役割などについて講話した後、実際に宮崎市で活動するもろくまかずお 諸隈一男さんの実践報告がありました。市内外から参加した約40人は市民後見人への理解を深めました。



市民後見人とは、社会貢献への意欲の高い一般市民で、成年後見人等として判断能力が不十分な人の代わりに契約手続きや金銭管理などを行う人のこと

## K-1チャンピオン寺田匠選手が タイトル初防衛のよろこびを報告

本市出身のK-1チャンピオンでこばやしPR大使の寺田匠選手が、2月9日にタイトル初防衛を果たしました。寺田選手は、プロで唯一敗北を喫していた新見貴士選手を相手に激しい打ち合いを制して勝利。3月12日には市長を訪問し、よろこびを報告しました。寺田選手へはお祝いとして小林市産黒豚とめろめろメロンが贈られました。



寺田選手は「追う側から追われる側になり今までにない緊張があったが、防衛できてホッとしている。今後も上を目指してがんばりたい」と話していました

## 妊娠前からの健康管理に理解深めて 小林看護医療専門校生が須木中で授業

3月11日、小林看護医療専門学校の学生5人が須木中学校で性や妊娠に関する授業を行いました。授業のテーマは、将来の妊娠を考えながら自分たちの生活や健康と向き合う「プレコンセプションケア」。学生らは「現在の生活を整えることが将来の健康な妊娠、出産につながる。自分たちができることを今のうちから実践して」と話しました。



授業には同中の全学年21人が参加。3年生のふくもとせいら 福元星空さんは「将来を見越して普段からバランスの良い食事や栄養を考えた生活をしたい」と話しました

## 小林や西諸の魅力の世界へ おもてなしやガイドの育成を考える

3月11日、KITTO小林で「小林の観光を考える会」が開かれました。九州旅客鉄道株式会社クルーズトレイン本部のたなかかつや 田中克也副課長による豪華寝台列車「ななつ星 in 九州」を通じたおもてなしの在り方についての講話の後、参加した関係者約50人は、地域を巻き込んだおもてなしや観光ガイドの育成などについて意見を交わしました。



意見交換では、観光ガイドの認定制度の創出や学校などと連携した若い世代を巻き込んだガイド育成の仕組みづくりなどのアイデアが出されていました